

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	高齢者における早期大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)の安全性・有用性に関する検討
研究責任者	山本 信三
研究機関名	日本赤十字社医療センター 消化器内科
研究目的と意義	早期に発見された大腸腫瘍に対する治療法として近年内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)と呼ばれる内視鏡治療法が確立し、既に保険収載されていることより全国的にその治療が普及してきております。大腸ESDに関しては治療成績を初めとしてこれまでに様々な研究結果が報告がされていますがその治療難易度は高く、今後も治療に関する安全性・有用性の検証を続けていく必要があります。そこで今回当院では自施設で施行した大腸ESD治療に関する診療情報を用いて、特に高齢者に対する治療の安全性・有用性を解明するための臨床研究を行うことと致しました。
研究方法	この研究はこれまでに日常診療上必要であった検査や治療のために行った過去の検査結果を調べる研究です。具体的には2007年9月～2020年8月までの間に当院で早期大腸腫瘍に対して内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を受けて頂いた患者さんを対象として診療録(カルテ)より得られる様々な情報を用いて高齢者の方々に対する治療の安全性・有用性を非高齢者の方々と比較することで統計学的に解析します。従って患者さんに新たに負担をお願いすることはありません。個人情報については厳重に管理され、プライバシーが漏れることがないようにデータは当院の医局・内視鏡室内で管理し、個人情報保護について細心の注意を払います。本研究によって得られた結果に関しては今後関連する学会での報告を予定しております。もし本研究への参加をご希望されない場合には今回の研究の対象とは致しませんので下記問い合わせ先にお申し出下さい。お申し出になられても診療を受けるうえで不利益を被ることはございません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 消化器内科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者： 山本 信三 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604